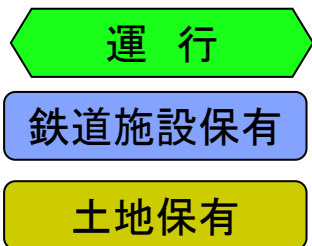


城端線・氷見線の鉄道事業再構築事業の概要

鉄道事業再構築事業実施スキーム

(計画期間: 令和6年2月～令和16年3月)

あいの風とやま鉄道



※事業譲渡後

設備投資費用等の補助

要員確保の協力

富山県・沿線4市

※事業譲渡前

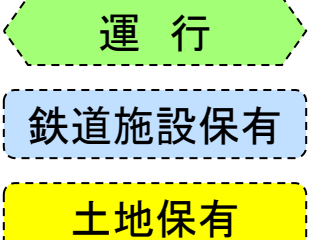
設備投資費用等の補助

国

事業譲渡

※計画開始から概ね5年後

JR西日本



具体的施策と効果

効果

- 高岡駅を中心に東西南北を結ぶ鉄道路線が同一の運行主体となり、富山県西部の交通ネットワークが強化
- 利用者数: 12,000人/日以上 (R15年度見込)
(計画開始前: 9,609人/日 (R4年度))
- 路線の収支: $\Delta 7.06$ 億円 (R15年度見込)
(計画開始前: $\Delta 10.86$ 億円 (R4年度))
※毎年の収支差は経営安定のための基金から補填

具体的な施策

- 利便性向上施策
 - ◇ 新型車両の導入 ◇ は社総交活用事業
 - ◇ 交通系ICカード対応
 - ◇ 運行本数の増、パターンダイヤ化
 - ◇ 高岡駅での両線の直通化
- 持続性向上のための既存設備の改良等
 - ◇ 新型車両の導入に伴うホームのかさ上げ
 - ◇ 線路設備・電路設備の改良
 - ◇ 事業主体の変更に伴う指令の移転・駅案内表示の改修
- まちづくり・観光施策との連携
 - ◇ フィーダー交通の導入促進
 - ◇ 駅へのアクセス道路の整備
 - ◇ 沿線の景観や立地環境を活かした観光関連施設や集客施設等の整備・拡充
 - ◇ アニメや漫画などを活用したまちづくりと連携した観光商品の造成、滞在型旅行の促進

JR西日本は150億円を拠出し、鉄道施設整備費の一部に充当し、残りは事業譲渡後の経営安定のための基金に積み立てる。また、事業譲渡前の既存設備の改良についても実施・協力する。